

## 令和5年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、日立市かみね公園内「ゆうえんち」及び「レジャーランド」の遊戯施設運行、飲食及び販売事業を展開し、さらには来園者へ「かみね公園」の四季折々の魅力を楽しんでいただくため、年間を通して季節に応じた様々なイベント等を開催しています。

あわせて、日立市が設置した観光レクリエーション施設である「奥日立きららの里」、健康増進施設である「日立市かみね市民プール」及び「日立市ホリゾンかみね」の指定管理者として適正かつ効率的な管理運営を行っております。

それら5つの施設運営等を通し、日立市民を始め、市外・県外から多くの来園者に憩いの場を提供することにより、福祉の増進と地域活性化に寄与すべく努めています。

令和5年度は、国の決定により、5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが二類相当から五類感染症へ移行し、日常生活がコロナ禍前に戻ってまいりました。一方、インフルエンザ等の感染症が年間を通して流行する状況が続きましたので、施設内各所へ継続して消毒液や飛沫防止シート設置など、利用者及び従業員の感染予防策を十分に講じ、諸施設の安全衛生管理に努めました。その上で、できるだけ多くの来園者の皆様が楽しんでいただけるよう、開催を見送っていたイベントを再開するとともに、例年より多くのイベントを開催しました。

以上のとおり、常に全ての来園者に満足していただくことを意識し、全従業員が一丸となり、事業運営を行いました。その結果、9月に発生した台風の影響により「日立市かみね市民プール」及び「日立市ホリゾンかみね」について、年間開館日数の概ね半数を臨時休館としたにもかかわらず、諸施設全体の利用者数及び事業収入は、コロナ禍前に近い実績となり、公益法人としての健全経営を図ることができました。

## I 事業内容

### 1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「ゆうえんち」及び「レジャーランド」、さらには日立市から受託している「奥日立きららの里」、「日立市かみね市民プール」及び「日立市ホリゾンかみね」の管理運営事業のほか、各種イベントの開催や自主事業として各種教室等を展開するなど、利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

#### (1) かみね公園の事業

##### ア かみね公園全般の事業

公園内では、コロナ禍前と同等の事業を実施することに加え、例年より多くのイベントを開催するなど、来園者増に努めました。イベントの開催等に当たりましては、日立市や関係団体との連携や協力を密にしながら、諸事業展開を行いました。

特に、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園と平和通りを中心に4年ぶりの開催となった「第58回日立さくらまつり」におきましては、かみね公園会場運営の一部を担い、桜のライトアップ、レジャーランドにおいてのご当地アイドルや市内高校チアリーディング部等によるフェス及びのりもの乗り放題デー等を開催し、多くの来場者をお迎えすることができました。

また、来園者が最も多く見込めるゴールデンウィーク期間は、「かみね公園ちびっこまつり」を開催し、遊園地及びレジャーランドにおいて各種イベントを実施しました。あわせて、園内無料バスの運行や交通誘導警備員を配置し、来園者の利便と混雑防止を図りました。

さらに、日立市の夏の風物詩である「第63回日立あんどんまつり」を4年ぶりに開催し、園内のライトアップや市内の子どもを中心とした子どもあんどん絵画作品（196点の応募）を展示するとともに、かみね動物園との連携により、「夜の動物園」の開催日前後には、レジャーランドと遊園地の夜間営業や各種イベントを実施しました。

その他、「かみね公園秋まつり」や「かみね公園正月まつり」など、年間を通して各種イベントを実施することにより、常に公園全体の魅力づくりを図りながら、憩いの場の提供や市内の賑わいづくりに努めました。

#### イ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設され、比較的低年齢層の来園者が多い施設です。利用者層に合わせた、のりものスタンプラリー、お菓子や文具プレゼント、ハロウィンイベント、冬の動物園・ゆうえんちまつり等のイベントを開催しました。

運営に当たりましては、来園した幼児・児童等に家族や友だちとのふれあいや思い出づくりの機会を提供することを主眼としながら、遠足シーズンには、楽しみながら学べる校外学習の場として、子どもたちの健全な成長に寄与する施設となるよう努めてまいりました。

#### ウ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型の遊戯施設を有する遊園地です。主なイベントとして、低廉な料金でのりもの利用できる乗り放題デー、まつり期間中のお菓子やソフトクリーム等のプレゼント、利用料金を割引するのりものタイムサービスや先着によるのりもの利用料金を無料とするイベント等を実施しました。

また、入園無料期間を6月と2月に設定するとともに、春と秋のまつり期間中の土曜日等も入園無料として、来園者サービスに努めました。

さらに、新たな試みとして、人気アニメーションとのコラボイベントを令和6年2月1日から3月18日まで開催したところ、開催期間中の来園者及び事業収入とも例年より倍増しました。この結果を踏まえ、今後も類似のコラボイベントを積極的に開催してまいります。

なお、経年劣化したキュービクル式高圧受電設備の改修を冬の閑散時期である令和6年1月9日から15日まで実施し、改修期間は休園としました。

## (2) 受託事業

日立市から指定管理者として指定されている「奥日立きららの里」、「日立市かみね市民プール」及び「日立市ホリゾンかみね」の3施設の管理運営を継続して担っております。

令和5年度は指定期間5年の3年目ですが、引き続き日立市の意向を十分に踏まえ、各施設の特性を活かした諸事業を展開し、安全かつ効率的な管理運営に努めました。

なお、「日立市かみね市民プール」及び「日立市ホリゾンかみね」につきましては、令和5年9月8日に茨城県内へ災害をもたらした台風13号の影響により発生した土砂崩れで、日立市清掃センターから供給される余熱移送管が数箇所破損しました。そのため、両施設の温水及び空調関係が使用できない状況が続きましたので、令和6年3月25日まで臨時休館とし、その間は「日立市ホリゾンかみね」の会議室のみの営業としました。

## ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえ、市内外の方々に自然に親しみ、ふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理運営を行いました。

令和5年度は、4年ぶりの開催となった春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展及びランニングフェスタ等を始め、ホテル観賞会、ひまわり迷路、季節ごとのウォークラリーや冬の富士山観賞会等、年間を通して利用者の方々が楽しんでいただけるよう各種イベントを開催し、入場者増に努めました。

## イ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえ、管理運営を行いました。

令和5年度は、台風による災害の影響で、長期の臨時休館となり、年間利用者数は前年度より大幅に減少しました。

なお、臨時休館前の利用者数は、前年度より約3千人増の2万9千人でしたので、3月26日からの平常営業再開後も、多くの方々に利用していただき、かつ、リピーター確保を図るため、営業再開の数日間は利用者に粗品を配布しました。

今後も、各種教室の開催等を始め、一層の誘客活動を行い、利用者増に努めてまいります。

## ウ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえ、管理運営を行いました。台風による災害の影響で、長期の臨時休館となり、年間利用者数は前年度より大幅に減少しました。

なお、臨時休館前の利用者数は、前年度より約5千人増の2万4千人と順調に増加しておりましたので、休館明けの3月26日から当面の間は、さらに多くの方々に利用していただき、かつ、リピーター確保を図るため、浴室へ固形石鹸に加えてボディソープの設置、レストランメニューの一部を通常価格より安価で提供するなどの利用者サービスを行いました。

今後につきましても、教室の開催内容を充実させるとともに、レストランの魅力あるメニュー開発、ギャラリーの効果的な活用、積極的に活動していただいている市民ボランティアによる1階ベランダ植栽の充実等を図るなど、利用者増に努めてまいります。

## 2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、従来に続き、感染症防止に十分配慮しながら物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

### (1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業は、恒常的な販売事業を行い、更なる収益増を図るためオリジナル商品、新規メニュー及びオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの販売を行いました。

なお、新たな試みとして実施した人気アニメーションとのコラボ企画が好評を得、来園者及び事業収入の増が図られましたことから、引き続き、類似の企画等を積極的に検討してまいります。

出店事業は、日立市池の川運動公園売店において、日立市長杯選抜野球大会、都市対抗野球茨城県大会及び全国高校野球選手権茨城県大会へ出店しました。あわせて、5年ぶりの開催となる「鶉の岬秋まつり」にも出店しました。

### (2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は100円から200円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

### (3) プレイランド運営事業

レジャーランド内において、100円から500円の投入式ゲーム機、定置式のりもの及びカプセルトイ等を設置したゲームコーナーを設けて運営しました。

## II 管理施設の利用状況及び売上実績

### 1 利用状況

#### (1) かみね公園

(単位：人)

| 区分  | 遊園地      | レジャーランド | 市民プール    | ホリゾン     | 合計       |
|-----|----------|---------|----------|----------|----------|
| 5年度 | 328,405  | 78,744  | 30,827   | 28,937   | 466,913  |
| 4年度 | 390,352  | 81,442  | 46,592   | 41,886   | 560,272  |
| 増減  | △ 61,947 | △ 2,698 | △ 15,765 | △ 12,949 | △ 93,359 |

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数を計上

#### (2) きららの里

(単位：人)

|     |        |
|-----|--------|
| 5年度 | 58,534 |
| 4年度 | 51,854 |
| 増減  | 6,680  |